



播磨町教育長 大辻 裕彦

2. 生涯学習社会のさらなる充実を図ります。全国的に少子高齢化の進む現在、播磨町ではその現象が顕著であります。例えば、小学生の人数は、播磨西小学校が創設された昭和51年に2,301人、それ以後増加を続け昭和58年には3,691人になりました。しかし、この年をピークに減少を続け、現在、2,124人になってしまいました。反対に、播磨町の高齢化率は年々高くなってきています。このような状況のなかで“世代間交流の活動や場”の設定、“一人一人の個性の伸長による生き甲斐を生み出す活動や場”の設定などを考えていきます。

3. 増加の傾向にある“不登校生”の状況を的確に把握し、青少年の健全育成や社会的自立を目指す教育の充実を図ります。そのため、対策センターを設置し住民の皆さまの協力を得て推し進めていきます。

4. 人権教育のさらなる充実を目指した取り組みを進めます。現在、播磨町では、多くのボランティア活動やサークル活動が積極的に行われています。これらのすべての活動や自治会活動などに人権の視点を当て、人権文化の高いまちづくりに努めます。

5. 大中遺跡を中心にした“文化ゾーン構想”をもとに全住民の生活文化を高める活動の活性化を図ります。

6. 播磨町を生涯スポーツの町にするため、「スポーツクラブ21はりま」の活動に積極的な支援をしていきます。また、学校園教育にもこの精神のもと一貫性をもった指導を検討し実践に移します。

以上、6つの視点から教育の方向性の概略を述べましたが、より具体的な取り組みの概要は、5月号の「広報はりま」と一緒に各ご家庭に配布しました「播磨町の教育」を是非ご覧いただきまして、全住民の皆さまが教育の目標を共有化していただきたいと思えます。

そして、「播磨町の教育は、播磨町のみならずの手で」という考え方で、播磨町教育文化の高まりを目指した諸活動を推し進めていきます。

新しい時代に向かう播磨町の教育

現在、わが国では広く教育を取り巻く環境が大きく変化し、その速度はあまりにも急激であります。教育に大きく影響をおよぼす日常生活環境は、低迷を続ける経済状況に左右され、国際的にわが国は世界の中の日本の真価が問われている現在において、教育の目標であります人間形成の内容も、今国が慎重に審議しています。

また、昭和40年代からの人口流動によって地域社会の文化も変化してきています。このような状況のなかで日本古来からの文化を伝承しつつも、新しい時代に即応した文化の創造が急がれます。

“環境はひとをつくり、その環境はひとがつくる”という教育の原点をもとに考える時、このような生活環境の変化のなかで、今、より“個”を大切に教育を見現するため“教育の地方化”が重視されています。平成14年度からの“学校週5日制”の実施とともに、まず、学校園教育では、全国共通の教育内容（人間としての基礎基本的な学習事項）を重視する教育と各地域の環境や時代背景のなかで必要な“力”を教育内容とした教育とを推し進めようとしています。

兵庫県においては 昨年7月に「兵庫の教育改革プログラム」を策定し、「県民すべてがかかわる兵庫の教育をめざして」というサブタイトルを掲げ、兵庫の地域性に合わせ、県民すべてがかかわる教育を創造しようとしています。

播磨町では、この兵庫の新しい教育の方向をもとに、播磨町におけるこれからの教育を審議する「播磨町教育審議会」を設立しました。（去る3月議会で“播磨町教育審議会条例”を可決）今、播磨町として目指している教育の概略を次のように考えています。

1. 播磨町は他市町に先駆けて3才児保育を始めて4年を経過しています。その実績をもとに、幼児から義務教育終了までの教育に一貫した目標と教育内容を明確にし具現を図ります。また、播磨町の子どものための社会的自立を目指した教育具現のため、播磨北小学校の統廃合を視野に入れた学校規模の適正化も検討していきます。

播磨西小学校

21世紀を担う子どもにも「生きる力」を

—夢かがやき、ともに学びをきりひらく、心豊かな西っ子の育成—



高桑 校長

本校では、「弗為胡成」（なざるんばなんぞならん）という「実践力に富んだ子」の育成をめざした校訓の精神を継承発展させ、21世紀の主役として活躍が期待される子どもたちに、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育むことをめざして教育活動を推進します。

めざす児童像

- 大きな夢をもつ子…夢
- すんでできる子…挑戦
- 学びをひろげる子…学び
- 思いやりのある子…心
- 明るく健やかな子…笑顔



算数的活動を積極的に取り入れ「発見・熱中・感動」を体感し、学、心ことの楽しさや充実感を味わう授業づくりをめざします。

本年度の研究テーマ

『ともに学び合う楽しい学習』

算数的活動を積極的に取り入れ「発見・熱中・感動」を体感し、学、心ことの楽しさや充実感を味わう授業づくりをめざします。

本年度の実践目標

- ① 「生きる力」を育む活力ある学校づくりの推進
 - ② 基礎的・基本的事項の確実な定着
 - ③ 個に応じた教育の充実と確かな学力の向上
 - ④ 豊かな心の育成と人権尊重の学校文化の構築
 - ⑤ 自主的・実践的に活動する特別活動の創意工夫
- 子どもたちの一日は基礎・基本の定着と豊かな表現力を培う『のびのびタイム』でスタートします。

本年度も、職員一同、英知を結集して、新しい時代を切り拓く、活力ある教育活動を展開します。

播磨小学校

新世紀を主体的かつ創造的に生きる力を育む教育

—より高く、より広く、より深く
心身共に大きく伸び伸びと
本校のシンボル『くすのき』のように—



藤原 校長

本校では、知・徳・体の調和のとれた人間の育成をめざし、「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」を育成する教育を推進しています。

多くの先輩の皆さま方が築いてこられたすばらしい伝統を大切にしながら、夢と希望を持って、国際化・情報化などが更に進展する未来を主体的かつ創造的に生きていく意欲と力を育む教育をめざしています。

教育目標

- ◎ 元氣よく、ともにやりぬく、心豊かな播磨っ子の育成
- ◎ めざす児童像
- 元氣よくやりぬく子
- けじめをつける子
- 思いやり助け合う子
- 自ら考え行動できる子
- 心豊かに暮らせる子



① 基礎・基本を生かし、主体的かつ創造的に生きる力の育成

- ② 共に生きる豊かな心を育てる教育の充実
- ③ 生涯を支える健康教育の充実
- ④ 「生きる力」を育む学校づくりの推進

本年度も、保護者の皆さまや地域の皆さまとの連携を大切にしながら、職員一同、心を一つにして、より充実した教育活動を推進していきます。

<http://homepage3.nifty.com/harisyou/>

播磨幼稚園

生きる力の基礎を育む



二木 園長

—幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で
平成16年度の播磨幼稚園では…

「一人一人が育つ・みんなが育つ・みんなで育つ」というテーマのもと友達や様々な人々とのかわりを通して、人への愛情や信頼感を育てる教育を進めています。

「なかよし家族」＝園内での異年齢交流

「なかよしデー」＝様々な人との継続的な交流

- （老人クラブ、学園北自治会、絵本ボランティア、卒園生やゆかりの方々、中学生、高校生、国際交流協会の方々など）

「なかよしデー」や「ほんわかデー」を盛り上げていただいてのボランティアの皆さんとの継続的なふれあいを大切にしなが、幼稚園教育の新しい形を創造しようとしています。

多くの人と心を通わせていく喜びは、人に対する温かい気持ちを育みます。そして

- あいさつや言葉の使い方、人と接する時の態度
- 社会のルールや、して良いこと悪いことの区別を知ること
- 相手の考えに耳を傾けたり、認めたりすること
- 自分の気持ちを表現する力
- 自分の気持ちを「コントロールすること」

成長に必要な大切な力を身に付けていきます。

<http://homepage3.nifty.com/harimayoutien/>



蓮池幼稚園

魅力ある新しい幼稚園教育の創造をめざす



北林 園長

友達と共に育ちあう子ども
遊びと生活の中で 道徳性の芽生えを培う
本園の教育目標

自然豊かな広い園庭や恵まれた園舎の中で様々な人とかかわりながら、「生きる力」の基礎を育みます。そして、幼児期にふさわしい自由な遊びと、はじめのあはれを送り、幼児一人一人の発達や個性を踏まえて、心豊かに いきいきと生活する子どもを育てることをめざします。

めざす幼児像

- 健康で たくましい子
- 豊かに感じる子
- よく考え 自分で行動する子
- 伝え合い 感じあう子

生きる力

- ◎ 意欲的に遊びや生活が出来る保育の充実
- ◎ 共に生きる豊かな心を育む環境の充実
- ◎ たくましく生き抜く健康・安全教育の充実
- ◎ 信頼関係の上立った家庭との密なる連携
- ◎ 心を通わせて地域や異校種の開かれた園づくりの推進

保護者や地域の方々との連携を密にして、幼児期に大切な教育環境を整え、実力ある新しい幼稚園教育を推進します。

<http://homepage3.nifty.com/hasukeyoutien/>



1年間、よろしくな!

播磨西小学校

1年生の子にとっても、できごとわくわくの新学期。でも、1年生の手を引いて「僕らもしっかりしなくちゃ!」そんな緊張感に胸躍らせるのは6年生も同じかも。

お互いにいろんなことを学びながら、充実した1年間を過ごしてほしいですね。

がんばれ、兄貴、姉貴!



▲仲良くしようね!



「や、何い遊びか?」
「お、お、何い遊びか?」
ちよつと照れながら、でも目一杯兄ちゃん姉ちゃんらしく、新1年生とあいさつを交わす6年生たち。

今日は新1年生との仲良しペアの発足会。これから1年間、いろんな活動を一緒に進めていきたいと思います。

ようこそ1年生

播磨小学校

「1年」：「チャチャチャ」と手拍子、上手にできました。「おーちた、おちた」「なー」が「おちた」大きな声で、乗ってきました。「船長さんの命令です。右手を挙げてください!」1年生、うまいづまい。「じゃけんけん!」大きな手とじゃんけんです。体育館が歓声に包まれます。そして、最後は全員で校歌の大合唱。こんな楽しい元気な校歌は初めてです。入学して間もない1年生も歌っています。

今日はゲームだけだったけど、5月には「1年生と遊ぶ会」があります。その時は、各学年からプレゼントがござり。1年生のみんな、楽しみにしていてね。

みんなの大好きな「さんぽ」に合わせて、1年生の入場です。6年生と手をつないで、1年生はうれしそう。6年生も優しい笑顔いっぱい。

4月21日(水)、1年生を迎える会がありました。



▲花のアーチをくぐって入場です

お兄ちゃんたちと遊んだよ!

播磨北小学校

生までの出し物です。2、3年生は校歌を歌ってくれたよ。4年生は北っ子体操を見せてくれました。運動会でもするそうです。覚えられるかな。5年生は、リコーダー奏をしてくれました。とても上手だったよ。最後の6年生は、なわとびや一輪車の演技を見せてくれました。さすが6年生、とてもすごかったよ。プレゼントもいっぱいもらったよ。とっても楽しかったよ!



▲大きな声で歌えました

「イツァ スモールワールド」の曲が流れてくると、かわいい1年生の登場です。6年生のお兄ちゃんやお姉ちゃんに手を引かれ、花のアーチをくぐる時は、ちよつぴりほつぺたが赤くなりました。4月21日(水)、北小学校で1年生を迎える会がありました。

最初は全校生で、ゲームをしました。アニメの問題ばかりだったので、簡単だったよ。次は、2年生から6年生を迎える会がありました。



▲ドキドキの入場

いろいろな教室を案内したよ

蓮池小学校



▲次はどの教室かな

4月22日(木)、お兄さん・お姉さんになった2年生は、入学したばかりの1年生に、学校の特別教室を案内しました。体育館、保健室、職員室、放送室、生活科室、給食室、家庭科室、ふれあい教室、理科室、図工室、パソコン室、図書室、音楽室。

それぞれの教室に入ると、画用紙に書いたひらがなが一文字ずつどこかに貼ってあり、それをプリントに書いていくと、ある文ができ上がります。ペアになった1年生と教室に入って字が見つけれられると、大喜び。まだ習っていないひらがなの書き方を教えてあげたり、何をする部屋かを説明したり、迷子にならないように手をつないだり、1年生の2年生の楽しい活動ができました。

1年生初めての給食

「わあい! エビピラフだ」 播磨南小学校



▲真新しいエプロンをつけて「いただきます」



4月19日(月)、1年生にとっては待ちに待っていた給食が始まりました。手洗いをし、マスク・帽子・エプロンを着けて給食の用意をしました。「わあい! エビピラフだ。ゼリーもついてる!」みんな大喜びです。「いただきます」と大きな声であいさつをして、食べ始めました。「よく噛んで三角食べをしてね」というと、どこからともなく「分かってる」という声が聞こえてきて、なごやかな雰囲気になりました。仲良くなったグループのお友達と小さな声でおしゃべりしながら楽しく給食をとりました。時間が少し長くなった給食初日でした。

防犯教室

播磨中学校



▲こうきたら、こう受けて

4月19日(月)、少林寺拳法(播磨町土山南支部長)の川中先生をお招きし、防犯教室を開催しました。不審者対策として「小手抜・十字抜」などの技を教えていただきました。みんな真剣な眼差しで練習しました。

学級開き

播磨中学校



▲とてもいいお天気でした

4月13日(火)、喜瀬川土手で桜吹雪舞う中、ワイワイと楽しくお弁当を食べました。みんなの頬も期待に燃え、ピンク色に染まっていました。

生徒会執行部発足

播磨南高等学校

先日行われた対面式では、新入生と在校生と一緒にゲームをし、交流を深めました。また、部活動紹介では、運動部・文化部それぞれの部活の紹介を通じて新入生に入部意欲を促しました。

先生方、先輩方に教わりながらこれから1年間頑張っていきたいです。

※このコーナーは今年度、生徒会が執筆します。



▲頑張るぞー!

本年度より、年間を通してこのスペースを頂きましたので、毎月、本校の行事について紹介していきます。

4月9日(金)、生徒会役員認証式を行い、執行部15人が校長先生に認証されました。高校では生徒が中心となって行事を運営していきます。みんな一人一人、「自分がやらなきゃ誰がやる!」の精神で行事を企画し実行していきます。「行事前は忙しくなるので、みんなが責任を持ち、成功させるために頑張る、思い出に残る行事にします。」

「中学生になって」

播磨南中学校



▲緊張のクラス発表

桜が満開の中、新入生の初日はクラス発表の瞬間から始まりました。2日目は、「中学生になって」の作文を書きました。

新しい友達と新しい先生、新しい校舎に囲まれて今からどんな中学校生活を送っていけるのか。ワクワクドキドキしています。

友達のいい所いっぱい見つけていきたいと思えます。

部活ががんばりたいです。

お母さんの作ったお弁当が食べられるのが嬉しそうに思いました。

「外見だけでなく、心が成長している人!」そんな中学生になりたい。

一人一人の熱い思いが伝わってきました。163人の新しい仲間たち、がんばります。

一人旅に出るときは予算の都合上キャンプをすることが多い。そういう話をすると「一人で寂しくない？」とよく聞かれる。しかし、いざキャンプ場に行ってみると同じように旅をしている人がいて、酒を飲みながら語り明かすということも少なくない。また、一人だとキャンプでの食事は簡単に済ませることが多いのだが、よほど貧しく見え

るのか、食べ物を差し入れてくれたり、自分たちのバーベキューに呼んでくれたりということも多々ある。荷物を満載して走っている「日本一周中ですか?」と声を掛けられることがある。車のように外界と隔てる壁がない単車だからこそ気軽に声もかけやすいのだから。単車乗りというのは非常に仲間意識が強く、ライダー同士がすれ違うときに挨拶しているのを見かけた人も多いのではないのでしょうか。だから、何らかのトラブルを抱えて停まっていると、何も言われなくても手助けをするという風土ができあがっている。そのようにお世話になった人、また、微力ながら手助

学生時代に乗った最初の単車にまたがり、北は青森から南は鹿児島まで走ってきた。それらの旅の中で各地の風景や名所・旧跡などを目にしたが、そういう目に見えるものよりも旅の途中で様々な人との出会いの方が後々まで強烈に印象に残っている。

私が高年に渡って単車に乗り続けてきたのは、このように様々な人々と出会ってきたからだと思う。生活環境の変化などによって、長旅に出ることが難しくなっているが、これからの一期一会の出会いを大切にしながら旅を続けたいと思う。単車のクラブのホームページ <http://www.yukky.jp/> 鉄馬友の会

「単車×旅」出会い

あなたに パンクッパ

リレーエッセー⑦



行本 充宏さん (野添)

趣味 オートバイツーリング スキー

けた人は数知れない。転勤に伴い4年半前に播磨町へと移ってきた。地元を離れて生活をしていると仕事抜きの友達を作るのは難しい。しかし、播磨町では、幸運にも町内の方が主催している単車のクラブを雑誌で見つけて仲間に入れてもらった。そして、そのクラブを通して多くの友達を持つことができたのも単車という乗り物のおかげである。

わんぱくはりまっ子



高田 杏奈ちゃん (8さい) ななみちゃん (2さい) 野添 人の痛みの分かる心の優しい女の子に育ててね (お母さんより)



このコーナーに出たい「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらっても結構です。

「一緒にしようね!!」

播磨西幼稚園

今日は入園して9日目。りす組(3歳児)の初めての身体測定です。何が始まるのか不安な様子。でも、5歳児に「服、脱げる?」「一緒に歩いてあげるから大丈夫やで」「はい、お兄ちゃんの顔を見てえ」などと、声をかけてもらうちに笑顔が見られ、身長・体重・座高を測ることができました。5月も「一緒にしようね!!」



▲5歳児のお兄ちゃんとお姉ちゃん ありがとう

レンゲ畑は、遊びの宝庫!!

蓮池幼稚園



▲ほら、道ができたよ

一面のレンゲに歓声を上げて「歩いた跡が道になった!」「迷路みたい!」その次には、すっぽりと埋もれてしまつて「かくれんぼや!」「見つけた!」の声があちこちから聞こえます。カエルやトンボも見つけて大喜び。先生に「ピーピー」の鳴らし方を教えてもらつて、ほっぺをふくらませながら何度も挑戦しました。蜜も吸つて「甘いなあ」と顔を見合わせて大満足!帰りの喜瀬川では子ガメさんに「バイバイ」とつても楽しかったね。また行こうね!



▲あっ! みつけた!

真っ赤なイチゴがとれたよ!!

播磨幼稚園

青々と繁った葉っぱの下からかわいいイチゴが顔をのぞかせています。「あっ、イチゴが赤くなつてる」「こっちも赤いよ!」「いっぱいあるね」「みんなでとうろ!」 1番最初にとったイチゴは大きい組さんが食べました。2番目にとったイチゴは、「このイチゴ、まんなか組さん食べてね! 甘いよ。おいしいよ!!」次は、小さい組さんの番です。楽しみにしててね!



とっても赤いよ!

食べたいナ!

甘い匂いがする

おいしそうだよみて! ワー大きい!

おさんぽ楽しかったね

播磨保育園

また、「これはなに」となすなを指す子どもたちに「カラカラ鳴らしてみようか」と一緒に作ってみました。そつと耳元で振ってみると「かわいいうい音」葉っぱがハートみたいと、うれしそう。保育園に帰ってきてからも図鑑を見て「きょうこれ見つけたよ!」あつ! からのえんどろだ」と、夢中でした。今度はどこへ行くのかな。



▲遠くまで飛んでいくといいね

さわやかな春風の中、今日は公園にお散歩です。たんぽぽを見つけ、次々に摘み始めると「あつ! わたげだ」と、子どもたちは大喜び。手に取つて「ふうっ」と息を吹きかけると、ふわふわと飛んで行きました。「うわあーあんなところへいっちゃった!」「どこまでとんでいくのかな」まるでわたげも散歩しているようでした。

HOTホット育児をめざして 「私の心の支え」

子育て学習センター

早く入園することしか頭にないかと思っていました。長男が4歳、下の子が2歳のころから私の気持ちも少し余裕ができ、長男の言葉にも少しずつ耳を傾け一緒に遊び、笑うという親子なら当たり前のことが、長男が生まれてから4年経てやっとできるようになりました。本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。もし、あのまま入園させていたら子どもたちの行動にあまり目を向けることなく、私と長男の心は一生平行線をたどり、交わることもなく人生を送っていたことでしょうか。親に惜しみなく愛された子はすくすく育ち、優しいです。自分を肯定し、愛することのできる人に成長していくことを願っています。